

★★令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

| No. | 補助・単独 | 交付対象事業の名称        | 計画申請時の事業概要<br>①目的・効果<br>②交付金を充当した経費内容<br>③積算根拠(対象数、単価等)<br>④事業の対象(交付対象者、対象施設等)  | 所管課     | 事業始期  | 事業終期  | A             |             |            |              |          | A-B   |   | 効果検証<br>①事業の成果、効果<br>②事業の評価  |          |
|-----|-------|------------------|---|---------|-------|-------|---------------|-------------|------------|--------------|----------|---|---|--|----------|
|     |       |                  |   |         |       |       | 総事業費<br>(決算額) | B           |            |              |          | 補助対象外経費   | 事業実施状況  |  |          |
|     |       |                  |   |         |       |       |               | 補助対象事業費     | C<br>国庫補助額 | D<br>交付金充当経費 | E<br>起債額 |   |   |  | F<br>その他 |
| 合計  |       |                  |   |         |       |       | 197,077,390   | 195,327,390 | 5,668,000  | 186,663,582  | -        | 2,996,144   | 1,750,000   |  |          |
| 1   | 単     | 新型コロナウイルス対策物購入事業 | ①町内において不特定多数の人の出入りが予想される施設等での新型コロナウイルスの感染防止を図る。<br>②感染拡大を防止するための備品及び消耗品の購入<br>③【需用費2,000千円<br>消毒液16,800円×30本×1.1=555千円<br>マスク10円×10,000枚×1.1=110千円<br>抗原検査キット550円×300セット×1.1=182千円<br>サニタリーボックス1,000円×20個×1.1=22千円<br>ハンドソープ2,800円×10個×1.1=31千円<br>抗菌機能付き便座交換103,326円×6力所=620千円<br>その他需用費480千円<br>【備品購入費】11,000千円<br>サーキュレーター10,000円×10台×1.1=110千円<br>除菌掃除機30,000円×2台×1.1=66千円<br>空気清浄機80,000円×2台×1.1=176千円<br>収納用倉庫450,000円×1台×1.1=495千円<br>その他備品購入費153千円<br>④役場庁舎、図書館、健康増進センター、交流センター、嵐丸ひろば | 総務課     | R4.5  | R5.3  | 2,315,574     | 2,315,574   | 2,315,574  |              |          |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染防止対策消耗品<br/>消毒液、サニタリーボックス、ウェットシート、空気清浄機等 968,728円</li> <li>・抗菌機能付き便座交換103,326円×6台=619,956円</li> <li>・スティッククリーナー16,400円×2セット=32,800円</li> <li>・サーキュレーター7,800円×4台×1.1=34,320円</li> <li>・サーキュレーター47,000円×2台×1.1=103,400円</li> <li>・スポットクーラー42,400円×2台=84,800円</li> <li>・サーマルカメラ95,370円</li> <li>・感染防止対策物資収納倉庫376,200円</li> </ul> | ①感染症の拡大を防止する消耗品や備品を購入し配置することで、感染症の拡大防止を図ることができた。また、施設への入館の際に検温をすることでリスクのある方の対応をすることができた。<br>②感染症対策として入館時に検温し、接触頻度を下げ、換気をすることで感染防止への効果をあげた。 |          |
| 2   | 単     | 高齢者予防接種事業        | ① コロナ禍における物価高騰の影響を強く受ける高齢者に対し、インフルエンザの予防接種費用を例年よりも厚く助成することで、接種を促進し、インフルエンザの感染を防ぎ、新型コロナウイルスの感染予防・重症化予防を図る。また、インフルエンザの感染拡大を防ぐことにより、医療体制の確保を図る。<br>② インフルエンザ予防接種医師委託料<br>③ 【予防接種医師委託料】1,225千円<br>高齢者500円(4,980円←4,480円)×2,450人=1,225千円<br>④ 65歳以上の高齢者  | 健康いきいき課 | R4.10 | R5.3  | 1,574,000     | 1,574,000   | 1,574,000  |              |          | 令和4年10月20日から令和5年1月31日の間に高齢者インフルエンザ定期予防接種を実施。自己負担金を前年度の1500円から1000円に引き下げた。<br>3,148人×500円=1,574,000円   | ①接種者数は令和3年度から148人増の3148人となった。<br>②インフルエンザ予防接種を受ける高齢者が増加したことにより、インフルエンザの感染予防効果・重症化予防効果があった。  |  |          |
| 3   | 単     | 観光振興事業           | ①コロナ禍の影響により町内の集客イベントが中止となり町内商工業者の経営に大きな影響を与えている。ウイズコロナ・アフターコロナの環境に対応すべく、町内の集客イベントを再開するにあたり必要な感染防止策を実施するための物資の調達<br>②感染防止対策に必要な物資購入費<br>③【備品購入費】6,332千円<br>ワンタッチ式テント 242,500円×16張り×1.1=4,268,000円<br>イベントフェンス 19,300円×60個×1.1=1,273,800円<br>イベントフェンス用収納台車 117,800円×1台×1.1=129,580円<br>テント収納用ハウス 600,000円×1棟×1.1=660,000円<br>【需用費】390千円<br>カラーコーン(ウェイト含む) 1,760円×100個×1.1=193,600円<br>コーンバー570円×100本×1.1=62,700円<br>自動消毒用機械7,000円×10台×1.1=77,000円<br>その他消耗品 56,700円<br>④町内各種イベント                | 企業支援課   | R4.4  | R5.2  | 6,647,578     | 6,647,578   | 6,589,428  |              | 58,150   | <ul style="list-style-type: none"> <li>感染防止対策に必要な物資購入</li> <li>・カラーコーン等 313,928円</li> <li>・ワンタッチ式テント一式 4,268,000円</li> <li>・コーンバー 62,700円</li> <li>・イベントフェンス一式 1,403,380円</li> <li>・観光イベント倉庫一式 463,452円</li> <li>・アルコールディスペンサー等 102,190円</li> <li>・感染対策用シート等 33,928円</li> </ul> | ①感染症対策に有効な物品を購入することで、イベント開催に伴う、感染拡大の防止に繋げることができた。<br>また、アルコールディスペンサーを購入したことで、ハンディタイプの検温機を使用するよりも、測定者の人員が削減でき、接触機会を減らすことができた。<br>②不特定多数が参加するイベントの感染対策が図られ、安心して参加できる環境を作れたことで、来場者数の増加へ繋げることができた。  |  |          |
| 4   | 単     | 小中学校施設改修事業       | ①小中学校内の大便器の洋式化を行うことにより衛生面及び新型コロナウイルス感染予防を向上させる。<br>②大便器の洋式化に要する経費<br>③【工事請負費】6,230千円<br>トイレ改修費 1,246千円×5校=6,230千円<br>④町立菅谷小学校、七郷小学校、志賀小学校、菅谷中学校、玉ノ岡中学校  | 教育総務課   | R4.7  | R5.1  | 5,071,000     | 5,071,000   | 5,071,000  |              |          | 各校1箇所ずつ5箇所の大便器洋式化を実施。<br>工事請負費 5,071,000円   | ①各校1箇所ずつ大便器を洋式化を実施し、衛生的なトイレに改修できた。<br>②和式から洋式への改修により衛生環境が向上したため、児童生徒が安心して利用できるようになった。   |  |          |
| 5   | 単     | 小学校樹脂製イス購入事業     | ①町立小学校において現在児童が使用している木製イスを樹脂製イスに変えることにより、木製イスの劣化から生じる割れや剥離箇所等による新型コロナウイルスの繁殖防止及び消毒作業の効率化を図る。<br>②感染拡大を防止するための備品の購入<br>③【管理用備品購入費】5,413千円<br>児童用イス(菅谷小)11,180円×128人×1.1=1,575千円<br>児童用イス(七郷小)11,180円×67人×1.1=824千円<br>児童用イス(志賀小)11,180円×245人×1.1=3,014千円<br>④菅谷小学校、七郷小学校、志賀小学校   | 教育総務課   | R4.9  | R4.11 | 4,346,760     | 4,346,760   | 4,346,760  |              |          | 児童用椅子購入<br>菅谷小学校 1,287,880円(128脚)<br>七郷小学校 674,520円(67脚)<br>志賀小学校 2,384,360円(231脚)  | ①ポリプロピレン製のイスを購入した。<br>②感染予防のための消毒が容易になり、児童の衛生が保たれるようになった。   |  |          |

| No. | 補助・単独 | 交付対象事業の名称               | 計画申請時の事業概要<br>①目的・効果<br>②交付金を充当した経費内容<br>③積算根拠(対象数、単価等)<br>④事業の対象(交付対象者、対象施設等)  | 所管課   | 事業<br>始期 | 事業<br>終期 | A             |             |                |                  |          | A-B<br>補助対象<br>外経費   | 事業実施状況  | 効果検証<br>①事業の成果、効果<br>②事業の評価 |
|-----|-------|-------------------------|---|-------|----------|----------|---------------|-------------|----------------|------------------|----------|--|---|-----------------------------|
|     |       |                         |   |       |          |          | 総事業費<br>(決算額) | B           |                |                  |          |  |   |                             |
|     |       |                         |   |       |          |          |               | 補助対象事業<br>費 | C<br>国庫補助<br>額 | D<br>交付金充当<br>経費 | E<br>起債額 |  |   |                             |
| 6   | 単     | 学校給食補助事業                | ①新型コロナウイルスからくる物価高騰による影響が家計に直面する多子世帯に対し小中学校の給食費を補助することにより、保護者負担の軽減を図る。<br>②小学校1年生から中学校3年生までの第2子の児童生徒に対し令和4年度中の各月の給食費の1/2を補助、第3子以降の児童生徒に対し全額補助する経費(教職員分は除く)<br>③【補助金】6,468千円<br>第2子小学1年生33人×22,575円=744,975円<br>第2子小学2~6年生181人×23,650円=4,280,650円<br>第2子中学生17人×27,500円=467,500円<br>第3子小学1年生9人×45,150円=406,350円<br>第3子小学2~6年生12人×47,300円=567,600円<br>の内4,000千円<br>④小中学生の内第2子以降の児童生徒  | 教育総務課 | R4.5     | R5.3     | 5,607,535     | 5,607,535   | 5,607,535      |                  |          | ・交付 220世帯<br>小学生(第2子)3,986,875円<br>(第3子)1,051,350円<br>中学生(第2子)569,310円<br>合計 5,607,535円  | ①町立小中学校に通う児童生徒の学校給食費を第2子は1/2補助、第3子は全額補助した。<br>②多子世帯の給食費を補助することにより、コロナ禍で経済的不安を抱える保護者の負担軽減に効果があった。  |                             |
| 7   | 単     | 水稲次期作支援助成事業             | ①コロナ禍において米価下落の影響と次期作に必要な物価高騰の影響により、事業継続が困難となっている稲作農家に対し種苗費相当額を助成することで従来通りの耕作面積による事業継続を支援することで、食料の安定供給を図る。嵐山町農業再生協議会において事務を行う。<br>②事業継続をするための次期作の種苗費<br>③【補助金】3,839千円<br>嵐山町農業再生協議会補助金 3,839,000円<br>(種苗費3,500円/10a×11,004a=3,800千円)<br>(通信運搬費(120円切手×97枚)+(84円切手×97枚)=20千円)<br>(協議会人件費956円×4時間×5日間=19千円)<br>の内2,000千円<br>④水稲農家  | 農政課   | R4.7     | R5.1     | 3,775,364     | 3,775,364   | 3,775,364      |                  |          | 水稲次期作支援助成<br>水稲農家 83名<br>・補助額 3,741,000円<br>・切手代 15,120円<br>・協議会人件費 19,244円  | ①種苗費相当額の助成により、米価下落の被害を受けた農家83名に対して支援ができた。<br>②次期作の水稲作付に要する種苗費相当額を助成したことで事業継続ができた。   |                             |
| 8   | 単     | 農業者フォローアップ事業(社会経済活動再開分) | ①コロナ禍において来客が減少傾向にある嵐山農産物直売所では、1,500円以上購入者に町内生産物150円相当をサービスすることにより、売上単価の増加とサービス品である地元生産物買い上げによる収入増加を図る。また、巣ごもり需要による加工品の販売面積拡大の必要性に対応するため必要な冷蔵ショーケースを購入し、販売環境の改善を行う。<br>②サービス品に該当する地元生産物の消費及び販売面積拡大に対応するための経費<br>③【補助金】5,174千円<br>嵐山農産物生産組合補助金 5,174,000円<br>(備品購入費1,130,000円×1.1=1,243千円)<br>(サービス品平日150円×1.08×100個×126日=2,042千円<br>休日150円×1.08×150個×70日=1,701千円)<br>(事務費956円×1時間×196日=188千円)<br>④嵐山農産物生産組合(129名)  | 農政課   | R4.7     | R5.3     | 5,140,360     | 5,140,360   | 5,140,360      |                  |          | ・嵐山農産物直売所販売促進 3,930,360円<br>補助率10/10以内<br>サービス品 24,953個×150円=3,742,950円<br>事務費 187,410円<br>・嵐山農産物加工品販売環境改善 1,210,000円<br>補助率10/10以内<br>冷蔵縦型オープンケース 1,210,000円  | ①新型コロナウイルス感染症の影響を受け経営状況の悪化している嵐山農産物直売所に対して経営向上のため町内生産物のサービス品を配布することにより、売上単価の増加が図れた。<br>②影響を受けている農産物生産者にコロナ禍でも生産や販売意欲向上の効果があった。                                      |                             |
| 9   | 単     | 農業者フォローアップ事業(事業者支援分)    | ①コロナ禍において売り上げが低迷する中で、長期の営農継続を見込むことができ、意欲がある担い手農家に生産効率向上を目的とした機械及び施設の導入を、また、稲作経営の効率化を図るため利用集積が進められるように機械化を支援する。<br>②長期的な視野で生産効率向上を進めるための補助金<br>③【補助金】4,396千円<br>パイプハウス955,900円×1/2=477千円<br>マルチャー管理機567,000円×1/2=283千円<br>小型耕運機243,000円×1/2=121千円<br>マトラネギ管理機319,000円×1/2=159千円<br>パイプハウス1,000,000円×1/2=500千円<br>無煙炭化器190,000円×1/2=95千円<br>耕運機(土壌消毒機)412,500円×1/2=206千円<br>農業用ドローン式2,121,920円×1.1=2,335千円<br>種子コーティングマシン200,000円×1.1=220千円<br>④農業法人、認定農業者、認定新規就農者、嵐丸塾生 | 農政課   | R4.4     | R5.3     | 4,247,000     | 4,247,000   | 4,247,000      |                  |          | ・農業者支援 1,811,000円<br>補助率1/2(団体10/10以内)<br>パイプハウス955,900円×1/2=477,000円<br>マルチャー管理機567,000円×1/2=283,000円<br>小型耕運機242,000円×1/2=121,000円<br>マトラネギ管理機280,000円×1/2=129,000円<br>パイプハウス1,081,641円×1/2=500,000円<br>無煙炭化器205,480円×1/2=95,000円<br>耕運機(土壌消毒機)412,500円×1/2=206,000円<br>・農業用ドローン 2,232,500円<br>・種子コーティングマシン 203,500円 | ①農業用ドローンによる水稲直播機コーティング栽培により、経費を抑え、作業効率を向上させることができた。意欲がある農業者が農業機械・施設を導入することで、生産効率を向上させることができた。<br>②スマート農業の普及による水田農業の効率化及び農地の利用集積の促進が図られた。意欲がある農業者に対し長期の営農継続の促進が図られた。 |                             |

| No. | 補助・単独 | 交付対象事業の名称                                 | 計画申請時の事業概要<br>①目的・効果<br>②交付金を充当した経費内容<br>③積算根拠（対象数、単価等）<br>④事業の対象（交付対象者、対象施設等）   | 所管課   | 事業<br>始期 | 事業<br>終期 | A             |             |                |                  |          | A-B         |   | 事業実施状況   | 効果検証<br>①事業の成果、効果<br>②事業の評価  |
|-----|-------|---|--|-------|----------|----------|---------------|-------------|----------------|------------------|----------|-------------|---|--|--|
|     |       |   |  |       |          |          | 総事業費<br>(決算額) | B           |                |                  |          | 補助対象<br>外経費 |   |  |  |
|     |       |   |  |       |          |          |               | 補助対象事業<br>費 | C<br>国庫補助<br>額 | D<br>交付金充当<br>経費 | E<br>起債額 |             | F<br>その他  |  |  |
| 10  | 単     | 農業者<br>フォロー<br>アップ事<br>業(感染<br>防止対策<br>分) | ①コロナ禍において自然環境の保全と農地の良好な景観形成を維持する作業が困難になったため、感染リスクを低減し、作業効率の向上を図るためラジコン草刈機及び斜面対応草刈機の導入を助成する。嵐山町環境保全型農業推進協議会で購入し、町内の必要な事業に貸し出しを行う。<br>②ラジコン草刈機及び斜面対応草刈機の導入費用<br>③【補助金】1,727千円<br>嵐山町環境保全型農業推進協議会補助金 1,727,000円<br>(ラジコン草刈機1,375,000円×1台=1,375千円<br>替刃7,560円×1枚=7千円<br>アルミブリッジ19,800円×1台=20千円<br>軽トラックマット5,600円×1枚=6千円<br>カルマックス319,000円×1台=319千円)<br>④町内農家   | 農政課   | R4.7     | R5.2     | 1,550,000     | 1,550,000   |                | 1,550,000        |          |             |   | ・地域資源環境保全管理 1,550,000円<br>補助率10/10以内<br>ラジコン草刈機一式 1,275,000円<br>カルマックス 275,000円  | ①ラジコンによる草刈り機、斜面対応草刈り機の導入により、除草活動の参加者の密を防ぐとともに、作業効率向上による時間短縮を図ることができた。<br>②感染リスクを低減し、地域資源である自然環境の保全及び農地の良好な景観形成を維持した。 |
| 11  | 単     | 嵐山町販<br>売促進支<br>援金給付<br>事業                | ①コロナ禍における外出自粛により顧客離れが進んでいる中で、看板設置やチラシ、パンフレットの配布などの営業活動に積極的に取り組み、売上の維持・増加を図っている事業者(販売促進支援金)、または新規に創業する事業者(新規創業支援金)に対し支援を行う。<br>②経営革新承認企業又は小規模事業者持続化補助金採択者(一般型、低感染リスク型)、令和4年2月から令和5年1月までに創業し、町内に店舗または事務所を構え、町内で活動している事業者に対する支援<br>③【補助金】3,100千円<br>(販売促進支援金)上限100千円×10事業者=1,000千円<br>(新規創業支援金)【嵐山町創業塾受講者・女性・若手経営者】300千円×5事業者【女性・若手経営者】250千円×1事業者+【嵐山町創業塾受講者・一般経営者】200千円×1事業者【一般経営者】+150千円×1事業者=2,100千円※一般経営者150千円、嵐山町創業塾受講者50千円上乗せ、女性・若手経営者100千円上乗せ<br>④(販売促進支援金)経営革新承認企業、小規模事業者持続化補助金採択者、(新規創業支援金)令和4年2月から令和5年1月までの間に町内で新規に創業し継続している事業者 | 農政課   | R4.9     | R5.2     | 3,100,000     | 3,100,000   |                | 3,100,000        |          |             | ・嵐山町販売促進支援金<br>100,000円×10件=1,000,000円<br>・嵐山町新規創業者支援金<br>300,000円×5件=1,500,000円<br>250,000円×1件= 250,000円<br>200,000円×1件= 200,000円<br>150,000円×1件= 150,000円 | ①前向きに事業を行う事業者に対する支援や新規に創業する事業者の増加へ繋げる効果があった。<br>②経営革新計画の承認者・小規模事業者持続化補助金の採択者(販売促進支援金)、創業計画書の作成(新規創業者支援金)を要件に入れたことで、事業計画を見直すきっかけ作りができた。 |  |
| 12  | 単     | 町内企<br>業人<br>材確保<br>支援事業                  | ①コロナ禍において求人セミナー等対面での情報発信ができない町内企業をサポートするため、各企業を一括でサポートできるポータルサイトを作成し、各企業のホームページへ誘導する仕組みを作り、町内企業の人材確保を支援する。商工会が事業を実施する。<br>②ポータルサイト作成費用等<br>③【補助金】3,700千円<br>商工会補助金 3,700,000円<br>(ポータルサイト作成費用3,200,000円+デザイン料50,000円+印刷費50,000円+折り込み費50,000円+アイテム仕事掲載料301,400円+消耗品費48,600円=3,700千円)<br>④町内企業50社程度  | 企業支援課 | R4.8     | R5.3     | 3,453,027     | 3,453,027   |                | 3,453,027        |          |             | ・嵐山町町内企業人材確保支援事業費補助金<br>(嵐山町商工会へ支出)<br>3,453,027円   | ①雇用を求める町内事業者と求職者のマッチング機会の創出及び町内事業者を紹介する機会を創出することができた。<br>②就職相談会の実施及び企業紹介のポータルサイト構築を行ったことで、2つの側面から事業者支援を実施することができ、次年度以降へ繋げることができた。      |  |
| 13  | 単     | 嵐山町内<br>事業者連<br>携支援事<br>業                 | ①コロナ禍における地域経済の悪化を、事業者間が連携して任意の事業を行うことにより、地域内に活性化を起こし乗り越えていくことに対し支援する。<br>②町内に店舗又は事務所を構え、かつ町内で活動している事業者が3事業者以上で連携して実施する事業に対する支援金<br>③【補助金】1,500千円<br>嵐山町内事業者連携支援事業補助金 300,000円×5グループ=1,500千円<br>※例えば、1事業者のみでは自社のみのチラシ・パンフレットの作成等で10万円程度を想定しているが、3事業者以上が連携をするとスケールメリットにより、連携したチラシ・パンフレットを作成した上で、看板の設置やイベントの開催(報償費、需用費、使用料等)が実施可能になるなど、有効的な事業者連携を想定している。<br>④町内事業者  | 企業支援課 | R4.10    | R5.1     | 1,183,000     | 1,183,000   |                | 1,183,000        |          |             | ・嵐山町町内事業者連携支援事業費補助金<br>300,000円×3件=900,000円<br>283,000円×1件=283,000円   | ①1事業者では実施できない事業を事業者間連携することで、より効果が高い内容で事業実施に繋げることができた。<br>②事業者間連携による、事業実施は、あまりないため、きっかけ作りを行うことができた。                                     |  |

| No. | 補助・単独 | 交付対象事業の名称       | 計画申請時の事業概要<br>①目的・効果<br>②交付金を充当した経費内容<br>③積算根拠（対象数、単価等）<br>④事業の対象（交付対象者、対象施設等）   | 所管課      | 事業始期 | 事業終期  | A             |           |            |              |          | A-B<br>補助対象外経費 | 事業実施状況  | 効果検証<br>①事業の成果、効果<br>②事業の評価   |
|-----|-------|-----------------|--|----------|------|-------|---------------|-----------|------------|--------------|----------|----------------|---|---|
|     |       |                 |  |          |      |       | 総事業費<br>(決算額) | B         |            |              |          |                |   |   |
|     |       |                 |  |          |      |       |               | 補助対象事業費   | C<br>国庫補助額 | D<br>交付金充当経費 | E<br>起債額 |                |   |   |
| 14  | 単     | 小規模事業者等IT化支援事業  | ①コロナ禍において原油価格・物価高騰等に直面している小規模事業者が、ITの活用により業務効率化、生産性の向上等を行い、売上維持と向上を図るために必要な経費の一部を支援する。商工会が事業を実施する。<br>②業務効率化、生産性の向上に役立つシステムの導入費、既存システムの更新、拡充のための費用、システム導入に伴うパソコン等電子機器の購入費用、自社のホームページの整備費用。<br>③【補助金】2,000千円<br>商工会補助金 2,000,000円<br>(小規模事業者等IT化支援金200,000円×10事業所=2,000千円)<br>※②の内容を想定しているが、例えば、会計ソフトの初期費用が10万円弱、年間利用料が5万円程度、機械導入費用で10万円超必要と見込まれ、小規模事業者には費用負担が大きいため、20万円までの補助で後押しすることにより、事業者の初期導入を促進できると考えている。<br>④町内小規模事業者 | 企業支援課    | R4.8 | R4.9  | 2,000,000     | 2,000,000 |            |              |          | 2,000,000      | ・小規模事業者等IT化支援事業費補助金<br>(嵐山町商工会へ支出)<br>2,000,000円  | ①町内事業者のIT化を図り、業務の効率化、生産性向上等に繋がる支援を実施することができた。<br>②嵐山町商工会が主体で行うことで、申請から導入までを一貫してサポートすることができた。  |
| 15  | 単     | 各種申請・経営相談窓口設置事業 | ①新型コロナウイルス感染症の影響により、様々なサポートを必要とする町内の事業者向けに、町と商工会で連携し、サポート窓口を設置し、事業者への支援を図る。商工会が事業を実施する。<br>②各種支援策に対する活用支援及び申請サポート、事業継続に向けた相談対応の窓口の設置に要する経費<br>③【補助金】952千円<br>商工会補助金952千円<br>(コピー用紙13,552円+印刷代14,000円+専門家派遣費用336,000円+商工会職員超過勤務589,120円=952千円)<br>④町内事業者  | 企業支援課    | R4.8 | R4.9  | 952,000       | 952,000   |            |              |          | 952,000        | ・嵐山町各種申請・窓口相談事業費補助金<br>(嵐山町商工会へ支出)<br>952,000円  | ①事業者に不測の事態が起こった際にすぐに相談できる窓口を設置でき、各種申請をスムーズに行うことができた。<br>特に、町で実施した、小規模事業者等価格高騰対策支援事業給付金の申請サポートに対する効果が大きかった。<br>②商工会と連携して実施したが、町内全事業者を対象としたことで、多くの事業者に対する支援ができた。                            |
| 16  | 単     | 駅前広場タクシー事業者支援事業 | ①コロナ禍の原油高騰などの影響により経営が大変苦しいタクシー事業者に対し、駅前広場のタクシープール利用料相当分を支援する。<br>②タクシープール利用料相当分の支援<br>③【補助金】468千円<br>3,000円×13台×12月=468,000円<br>④タクシー会社3社(13台)   | まちづくり整備課 | R4.7 | R4.10 | 468,000       | 468,000   |            |              |          | 468,000        | ・タクシー会社3社<br>3,000円/月×13台×12月=468,000円  | ①コロナ禍の利用者の減に加え、原油高騰に伴う燃料費の高騰など経営が苦しくなっているタクシー事業者の駅前広場のタクシープール利用料を免除するなど経済的支援を行った。<br>②タクシー事業者に経済的な支援を行うことにより、町民等の移動手段の確保が図られた。  |
| 17  | 単     | 地域環境整備事業        | ①コロナ禍において、従来から地域住民がボランティアで実施していた道路愛護・道普請といった道路の除草、土砂撤去及び側溝清掃等ができなくなっている。これらの作業を業者に依頼することにより、地域住民同士が狭い空間で作業することがなくなり、地域住民同士の感染防止につながる。また、普段の地域住民の作業を理解している地元業者に依頼することで、地域住民が再度作業をすることがないよう感染防止につながる。<br>②除草、土砂撤去、側溝清掃、簡易修繕工事<br>③【工事請負費】10,024千円<br>清掃工事 3,000m×2,000円/m=6,000千円<br>土砂撤去工事 2,300m×5m/m×176,000円/m=2,024千円<br>簡易修繕工事 20カ所×100,000円=2,000千円<br>④地域住民  | まちづくり整備課 | R4.8 | R5.3  | 9,998,469     | 9,998,469 |            |              |          | 9,998,469      | ・(単価契約)地域環境整備工事(A地区)<br>(路面清掃、側溝清掃、集水樹清掃):4,811,208円<br>・(単価契約)地域環境整備工事(B地区)<br>(路面清掃、側溝清掃、集水樹清掃):2,577,188円<br>・(単価契約)地域環境整備工事(C地区)<br>(側溝清掃):507,608円<br>・(単価契約)地域環境整備工事(D地区)(路面清掃、側溝清掃):2,102,465円 | ①コロナ禍において、できなくなっていた道普請などの地域の道路の側溝清掃や集水樹清掃を、南北に長い嵐山町を4地区に分けて業者に実施させ、道路環境を整えた。これにより、地域住民が密に作業を行うことがなくなり、感染対策も図られた。<br>②地域住民に快適に散策できる環境が整うとともに、コロナ禍で経営に不安を持つ地域土木業者へ発注することにより、経営の支援も図ることができた。 |
| 18  | 単     | 道路台帳電子化事業       | ①現在紙上の冊子のみの道路台帳を閲覧に供しており、職員が閲覧者と密の状態に対応していることから、道路台帳を電子化することにより、アクリル板を介しての対応ができるようになり、新型コロナウイルス感染症予防対策につなげる。<br>②道路台帳の電子化<br>③【電算委託料】4,400千円<br>4,000,000円×1.1(5年間保守込みで入札予定)<br>④道路台帳  | まちづくり整備課 | R4.8 | R5.3  | 4,400,000     | 4,400,000 |            |              |          | 4,400,000      | 電算委託料 4,400,000円  | ①道路台帳においては、A0版の紙面にて閲覧に供し、感染予防対策ができない状態から、電子化することにより、アクリル板を介しての対応が可能となった。<br>②ウィズコロナ下での社会経済活動の再開等のため、行政手続のスマート化、行政事務のデジタル化の推進も図ることができた。  |

| No. | 補助・単独 | 交付対象事業の名称                    | 計画申請時の事業概要<br>①目的・効果<br>②交付金を充当した経費内容<br>③積算根拠（対象数、単価等）<br>④事業の対象（交付対象者、対象施設等）   | 所管課   | 事業<br>始期 | 事業<br>終期 | A             |             |                |                  |          | A-B         |  | 補助対象<br>外経費   | 事業実施状況   | 効果検証<br>①事業の成果、効果<br>②事業の評価 |
|-----|-------|------------------------------|--|-------|----------|----------|---------------|-------------|----------------|------------------|----------|-------------|--|---|--|-----------------------------|
|     |       |                              |  |       |          |          | 総事業費<br>(決算額) | B           |                |                  |          | 補助対象<br>外経費 |  |   |  |                             |
|     |       |                              |  |       |          |          |               | 補助対象事業<br>費 | C<br>国庫補助<br>額 | D<br>交付金充当<br>経費 | E<br>起債額 |             | F<br>その他   |   |  |                             |
| 19  | 単     | 電子図書館導入事業                    | ①非来館型サービスの電子図書館を導入することで、コロナ禍において外出の抑制をしながらも、読書環境の充実を図ることを可能とする。<br>②導入費用、使用料、電子書籍購入費を参加7自治体で均等・人口割したもの<br>③【負担金】850千円<br>初期導入費700,000円⑦<br>クラウド使用料25,000円×9月×7自治体=1,575,000円⑧<br>電子書籍(期限無)1,820,000円⑨<br>電子書籍(期限有)2,800,000円⑩<br>(⑦+⑧+⑨+⑩)×1.1=7,584,500円<br>7,584,500円×(均等割0.45÷7自治体+人口割0.55÷206,046人×17,889人)≒850,000円<br>④図書館         | 生涯学習課 | R4.7     | R4.9     | 849,744       | 849,744     |                | 849,744          |          |             |  | 比企1市6町により、比企広域電子図書館協議会を組織。参加市町からの負担金を事業運営費に充て、電子図書館の共同導入を実施した。<br>・負担金 849,744円<br>電子図書館開設・運用開始日：令和4年9月1日<br>購入コンテンツ：2,195点   | ①令和4年度の利用登録者数は参加市町全体で1,574人(うち嵐山町156人)。貸出数は参加市町全体で5,137点(うち嵐山町280点)<br>②感染症拡大時における安全・安心な図書館サービス提供のため、非来館型サービスを構築することができた。また、新たな図書貸出形態は利用者の選択肢を増やし、図書館サービスの裾野を広げることに繋がった。 |                             |
| 20  | 単     | 地域公共交通支援事業                   | ①コロナ禍においてガソリン代をはじめとした燃料代等が高騰する中、バスの運行経費と燃料高騰分を補助することにより、公共交通の安定的な運行と住民の日常的な移動手段を確保する。<br>②運行経費及び燃料代<br>③【補助金】302千円<br>一路線200千円<br>燃料代52.8km/燃費3km/l×365日×値上げ分16円/l≒102,000円<br>④町内を運行するバス事業者   | 地域支援課 | R4.7     | R4.9     | 302,000       | 302,000     |                | 302,000          |          |             | 新型コロナウイルス感染症の影響に加え、原油価格・物価高騰に対応として、町内を運行する路線を有するバス事業者へ補助金を交付した。<br>・交付対象事業者：国際十王交通㈱<br>(路線：熊谷駅・小川町駅間路線バス)<br>・補助金額：302,000円<br>(1路線200,000円+燃料分102,000円) | 長引くコロナ禍で乗客数が落ち込み、重ねて原油価格・物価高騰により厳しい経営状況が続くバス事業者に対し、補助金を交付することで、公共交通の安定的な運行と住民の日常的な移動手段を確保することができた。                            |  |                             |
| 21  | 単     | 北部交流センター網戸設置工事               | ①北部交流センターは会議や研修会などで広く利用されており、今後のウィズコロナ・アフターコロナを見据え、ホール内の換気を行うため、網戸と引き違い窓の設置をする。<br>②引き違い窓及び網戸の設置、既存ガラスの処分費<br>③【工事請負費】1,826千円<br>窓及び網戸の設置費及びガラス処分費 1,069,500円<br>諸経費 590,500円<br>消費税 166,000円<br>④北部交流センター   | 生涯学習課 | R4.8     | R4.11    | 1,782,000     | 1,782,000   |                | 1,782,000        |          |             | 嵐山町北部交流センター網戸設置工事<br>・工事請負費 1,782,000円<br>北部交流センターの多目的ホール<br>・既存窓ガラス撤去、発生材処分 9箇所<br>・網戸設置 9箇所  | ①多目的ホールについて、ほこりや虫の侵入を防ぎつつ十分な換気を行えるように施設が整備され、新型コロナウイルス感染症拡大防止について施設での感染予防を強化することができた。<br>②新型コロナウイルス感染症の予防に配慮した施設利用が出来るようになった。 |  |                             |
| 22  | 単     | 子育て世帯応援給付金支給事業(原油価格・物価高騰分充当) | ①コロナ禍における原油価格・物価高騰等の影響を受けやすい子育て世帯に対して、応援給付金を支給することで経済的負担を軽減する。<br>②子育て世帯応援給付金及び事務費<br>③【需用費】54千円<br>・事務用品等 17,000円<br>・窓あき封筒印刷代 13円×2,000枚=26,000円<br>・返信用封筒印刷代 5.4円×2,000枚=10,800円<br>【役務費】202千円<br>・案内等送付 84円×1,200件=100,800円<br>・返信用切手代 84円×1,200件=100,800円<br>【補助金】117,670千円<br>・補助金 1,767人×10,000円<br>の内10,000千円<br>④町内支給対象児童1,767人 | 福祉課   | R4.10    | R5.3     | 4,996,905     | 4,996,905   |                | 3,010,000        |          | 1,986,905   | ・需用費<br>事務用品等 16,418円<br>封筒代 35,640円<br>・役務費<br>郵送料 74,847円<br>・補助金<br>487人×10,000円=4,870,000円   | ①新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯への生活応援給付措置を実施。<br>②子育て世帯に対して経済的負担の軽減に寄与した。   |  |                             |
| 23  | 単     | 物価高騰による学校給食費の負担軽減事業          | ①コロナ禍において学校給食に使用する食材費が高騰する中、給食費の値上げをしなくてはならなくなり、保護者の負担が増加するため、給食費の値上げ分を給食センターへ負担金として支出する。<br>②給食センターで使用する食材費の値上げ分の支援<br>③【補助金】4,588千円<br>令和3年5月と令和4年5月で同じメニューの1食当たりの食材料を比較し、差額を年間食数と児童生徒、園児数でかけて積算21.77円×190日×1109人≒4,588千円<br>の内3,000千円<br>④小中学校児童生徒、幼稚園園児  | 教育総務課 | R4.9     | R5.3     | 4,588,000     | 4,588,000   |                | 4,588,000        |          |             | 学校給食センターに食材費の値上げ分として補助。<br>児童・生徒分 4,340,000円<br>園児分 248,000円<br>合計 4,588,000円  | ①コロナ禍で学校給食の食材費が高騰する中、給食費の値上げをすることなく、学校給食が提供できた。<br>②給食費を値上げしないことで、保護者の負担軽減に繋がった。  |  |                             |
| 24  | 単     | 嵐山幼稚園空調設備設置事業                | ①町立嵐山幼稚園に空気清浄機能(抗菌・抗ウイルス繁殖抑制型)付空調設備を設置し、コロナ禍における園児の安心安全な教育環境の整備を図る。<br>②感染拡大を防止するための空調設備の設置。<br>③【工事請負費】18,200千円<br>空調設備9台換気扇3台 16,545千円×1.1≒18,200千円<br>④嵐山幼稚園  | 教育総務課 | R4.9     | R5.1     | 17,535,921    | 17,535,921  |                | 17,535,921       |          |             | 空調設備9台、換気扇3台の改修を実施。<br>・工事請負費 17,535,921円  | ①空気清浄機能のある空調設備と換気機能の強化により、感染予防できる環境になった。<br>②換気機能と空気清浄機能を強化したことにより、感染拡大のリスクが減り衛生的で安心できる環境になった。                                |  |                             |

| No. | 補助・単独 | 交付対象事業の名称         | 計画申請時の事業概要<br>①目的・効果<br>②交付金を充当した経費内容<br>③積算根拠（対象数、単価等）<br>④事業の対象（交付対象者、対象施設等）  | 所管課     | 事業<br>始期 | 事業<br>終期 | A             |             |                |                  |          | A-B<br>補助対象<br>外経費 | 事業実施状況  | 効果検証<br>①事業の成果、効果<br>②事業の評価  |
|-----|-------|-------------------|---|---------|----------|----------|---------------|-------------|----------------|------------------|----------|--------------------|---|--|
|     |       |                   |   |         |          |          | 総事業費<br>(決算額) | B           |                |                  |          |                    |   |  |
|     |       |                   |   |         |          |          |               | 補助対象事業<br>費 | C<br>国庫補助<br>額 | D<br>交付金充当<br>経費 | E<br>起債額 |                    |   |  |
| 25  | 単     | 新型コロナ対策水道基本料金減免事業 | ①コロナ禍において原油価格・物価高騰に直面する町民や町内事業者の支援を主たる目的とし、水道基本料金を減免することによりその負担軽減を図る。<br>②水道基本料金の減免(6か月間)<br>③【補助金】30,540千円<br>13mm 7,477件×3回=22,431件<br>20mm 716件×3回= 2,148件<br>25mm 71件×3回= 213件<br>30mm 46件×3回= 138件<br>40mm 25件×3回= 75件<br>50mm 22件×3回= 66件<br>75mm 7件×3回= 21件<br>100mm 2件×3回= 6件<br>計 8,366件×3回=25,098件<br>10,180,000円×3回=30,540,000円<br>(うち公的施設578千円×3=1,734千円は町の一般財源で対応)<br>④町内在住及び所在の上水道利用者 25,098件<br>(公的施設分は除く) | 総務課     | R4.7     | R5.3     | 30,729,000    | 28,979,000  |                |                  |          | 1,750,000          | 給水契約のあるすべての使用者に対し、令和4年8、10、12月検針分の水道基本料金合計6ヶ月間を免除。<br><br>免除内訳<br>口径13mm22,353件=22,218,000円<br>口径20mm 2,182件= 2,176,000円<br>口径25mm 214件= 1,275,000円<br>口径30mm 139件= 1,112,000円<br>口径40mm 75件= 1,050,000円<br>口径50mm 66件= 1,452,000円<br>口径75mm 21件= 966,000円<br>口径100mm 6件= 480,000円<br>免除合計25,056件、30,729,000円 | ①水道料金基本料金免除事業により、8月検針分は10,201,500円、10月検針分は10,259,500円、12月検針分は10,268,000円の合計30,729,000円が水道使用者の経済的負担に対する支援ができた。<br>②原油価格・物価高騰に直面する町民や町内事業者の支援及び疲弊する地域経済の軽減を図る事ができた。          |
| 26  | 単     | 学校橋トイレ改修事業        | ①学校橋キャンプ場及びマレットゴルフ場は、コロナ禍におけるアウトドアレジャーの需要増加により利用者数が増加しているが、便益施設である学校橋トイレは旧態依然の和式便器であり、工事が実施されることにより、衛生面とアフターコロナによる利便性の向上が図られる。<br>②トイレの洋式化工事<br>③【工事請負費】1,000千円<br>トイレ洋式化工事 303,000円×3基×1.1≒1,000千円<br>④学校橋トイレ  | 企業支援課   | R4.10    | R4.12    | 764,610       | 764,610     |                |                  |          | 764,610            | 学校橋トイレ洋式化工事 3基<br>・工事請負費 764,610円   | ①トイレを様式化したことで、便座カバーを設置することができ、感染対策に寄与する効果があった。<br>②改修を行ったことで、衛生面の向上、利便性の向上が図られ、利用者が安心して利用できるようになった。  |
| 27  | 補     | 疾病予防対策事業費等補助金     | ①コロナ禍の影響により、当初の予定に比べ抗体検査率が計画を下回っている風しん抗体検査の追加的対策の延長を行う。<br>②風しん追加的対策の延長に係る費用<br>③【委託料】900千円<br>予防接種医師委託料 900,000円<br>【役務費】253千円<br>風しん追加的クーポン券発送費用 126,000円<br>風しん追加的対策勧奨通知 81,900円<br>抗体検査 45,000円<br>【需用費】116千円<br>風しん抗体検査・予防接種クーポンシール 66,000円<br>風しんクーポン券発送用封筒 49,500円<br>(臨時交付金634千円、国庫支出金634千円、一般財源1千円)<br>④昭和37年度～昭和53年度生まれの町内男性  | 健康いきいき課 | R4.4     | R5.3     | 710,313       | 710,313     | 355,000        |                  |          | 313                | R4年度も継続して風疹の追加対策を実施するため、未実施の対象者に勧奨通知を発送し、追加的対策の延長実施について周知した。  | ①風疹抗体検査実施数は67人であった。<br>②風疹の追加的対策を延長実施したことにより、風疹の感染予防効果と風疹への対策意識の向上につながった。  |
| 28  | 補     | 介護保険事業費補助金        | ①特定個人情報の情報照会機能の追加対応による介護報酬改定等に伴うシステム改修を行うことで新型コロナウイルスにおいても感染予防・重症化予防を図る。<br>②介護報酬改定等に伴うシステム改修費用<br>③【委託料】328千円<br>介護報酬改定等に伴うシステム改修電算委託料297,500円×1.1≒328千円<br>④介護保険システム  | 長寿生きがい課 | R4.8     | R4.12    | 327,250       | 327,250     | 218,000        |                  |          | 250                | 電算システムの改修。主な改修項目は以下のとおり。<br>・公金受取口座の情報照会機能の追加対応<br>・申請書等の様式変更、画面項目追加対応  | ①マイナンバーに銀行口座を紐づけている方は、来庁することなく処理が可能となった。<br>②事務量の削減につながった。来庁する必要がなくなり、感染対策にも寄与した。  |
| 29  | 補     | 教育支援体制整備事業費交付金    | ①幼稚園において、新型コロナウイルス感染防止対策のため職員研修や園児の動画配信のためネット環境を整え、衛生環境を向上させることで、園全体の感染予防を図る。<br>②新型コロナウイルス感染防止対策に要する経費<br>③【需用費】59千円<br>衛生関係用品 54,450円<br>ウィルスバスター 4,527円<br>【役務費】153千円<br>Wi-Fiルータ通信料 52,800円<br>【備品購入費】298千円<br>サーモグラフィカメラ 88,000円×1台×1.1=96,800円<br>タブレット 86,800円×2台×1.1=190,960円<br>ルータ 10,000円<br>(臨時交付金139千円、国庫支出金268千円、一般財源3千円)<br>④幼稚園   | 教育総務課   | R4.6     | R5.3     | 327,990       | 327,990     | 179,000        |                  |          | 990                | <埼玉県幼児教育の質の向上のための緊急環境整備事業補助金> 189,302円<br>・消耗品費 93,932円<br>ビニール袋、使い捨て手袋、アルコール除菌シート等<br>・備品購入費 95,370円<br>サーマルカメラ<br><埼玉県園務改善のためのICT化支援事業補助金><br>138,688円<br>・備品購入費 117,700円<br>タブレット、ヘッドセット、モバイルルータ<br>・通信運搬費 20,988円<br>モバイル通信サービス料 10月～3月   | ①感染症の拡大を防止する消耗品や備品の購入を行い、感染症の拡大防止を図ることができた。タブレットを購入することで幼稚園のwifi環境を整備することができた。<br>②幼稚園に感染症の拡大防止に効果があった。タブレットを使用して職員が研修等に参加することができた。また、職員がタブレットを操作し、園児に動画等を見せることができるようになった。 |

| No. | 補助・単独 | 交付対象事業の名称                  | 計画申請時の事業概要<br>①目的・効果<br>②交付金を充当した経費内容<br>③積算根拠（対象数、単価等）<br>④事業の対象（交付対象者、対象施設等）  | 所管課     | 事業<br>始期 | 事業<br>終期 | A             |             |                |                  |          | A-B<br>補助対象<br>外経費 | 事業実施状況   | 効果検証<br>①事業の成果、効果<br>②事業の評価   |
|-----|-------|----------------------------|---|---------|----------|----------|---------------|-------------|----------------|------------------|----------|--------------------|--|---|
|     |       |                            |   |         |          |          | 総事業費<br>(決算額) | B           |                |                  |          |                    |  |   |
|     |       |                            |   |         |          |          |               | 補助対象事業<br>費 | C<br>国庫補助<br>額 | D<br>交付金充当<br>経費 | E<br>起債額 |                    |  |   |
| 30  | 補     | 学校保健<br>特別対策<br>事業費補助<br>金 | ①新型コロナウイルスの集団感染のリスクを避けるために必要な保健衛生用品等の整備に必要な経費を補助することにより、児童生徒が安心して学ぶことができる体制の整備を促進する。<br>②保健衛生用品等<br>③【需用費】3,264千円<br>抗菌カーテン11,000円×120枚×1.1=1,452千円<br>CO2チェッカー9,500円×20台×1.1=209千円<br>アルコール10,000円×35箱×1.1=385千円<br>アルコールディスペンサー11,800円×20台×1.1=260千円<br>体温計8,000円×40本×1.1=352千円<br>手袋16,000円×25箱×1.1=440千円<br>その他需用費 166千円<br>【備品購入費】1,050千円<br>サーキュレーター9,000円×50台×1.1=495千円<br>網戸13,400円×35枚×1.1=516千円<br>その他備品購入費 39千円<br>④町内小中学校(5校)の内、補助対象事業費4,312千円  | 教育総務課   | R4.6     | R4.12    | 4,354,068     | 4,354,068   | 2,156,000      | 2,156,000        |          | 42,068             | 新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るための衛生用品、備品を各校で購入した。<br>・消耗品 2,276,410円<br>バルオキシメーター、ブラダンボード、ビニール袋、抗菌スリッパ、ビニール手袋 等<br>・備品購入費 2,077,658円<br>抗菌カーテン、足踏み消毒スタンド、マット等<br><br>菅谷小学校 1,170,180円<br>七郷小学校 810,653円<br>志賀小学校 807,437円<br>菅谷中学校 813,363円<br>玉ノ岡中学校 752,435円 合計 4,354,068円  | ①感染症の拡大を防止する消耗品や備品の購入を行い、感染症の拡大防止を図ることができた。<br>②各学校において感染症の拡大防止に効果があった。   |
| 31  | 補     | 保育対策<br>総合支援<br>事業費補助<br>金 | ①保育所における新型コロナウイルス感染防止対策とICT化を支援する。<br>②新型コロナウイルス感染防止のためにかかる費用<br>③【補助金】6,800千円<br>新型コロナウイルス感染対策支援<br>500千円×3園=1,500千円<br>400千円×1園=400千円<br>300千円×3園=900千円<br>ICT化推進等<br>1,000千円×4園=4,000千円<br>④町内保育所  | 福祉課     | R4.11    | R5.3     | 4,300,000     | 4,300,000   | 2,400,000      | 1,900,000        |          |                    | 町内7保育所実績<br>・東昌保育園・・・500,000円(感染症対策支援事業)<br>750,000円(ICT化)<br>・東昌第二保育園・・・500,000円(感染症対策支援事業)<br>750,000円(ICT化)<br>・嵐山若草保育園・・・500,000円(感染症対策支援事業)<br>・嵐山しらこぼと保育園・・・400,000円(感染症対策支援事業)<br>・たいよう保育所・・・300,000円(感染症対策支援事業)<br>・めぐみのその保育園・・・300,000円(感染症対策支援事業)<br>・アサヒキッズランド嵐山花見台・・・300,000円(感染症対策支援事業)       | ①感染症対策に関する業務を実施していくための必要経費を支援。ICT化によって保育士業務の負担を軽減した。<br>②感染症対策を徹底しながら、保育事業を継続的に実施できた。保育の補助業務に係るICT化を推進した。   |
| 32  | 単     | 自宅療養<br>者支援物<br>資購入事<br>業  | ①新型コロナウイルスに感染した自宅療養者に対し、必要に応じ物資を支援するもの<br>②自宅療養者支援物資<br>③【需用費】1,000千円<br>ごはん付きシリーズアソートセット(6食入り)1,490円×538箱=802千円<br>バルスオキシメーター4,378円×45個=198千円<br>④新型コロナウイルスに感染した自宅療養者  | 健康いきいき課 | R4.7     | R4.11    | 455,406       | 455,406     |                | 455,406          |          |                    | 新型コロナウイルスに感染した自宅療養者に対し、必要に応じ物資を購入し、支援した。<br>・ごはん付きシリーズアソートセット(6食入り)1,490円×241箱=359,090円<br>・バルスオキシメーター3,980円×22個×1.1=96,316円   | ①感染陽性者への食事や状態管理に必要な物資を購入し配布することで、外出できない方が日常的な生活を送るための支援を行った。<br>②感染陽性者やその濃厚接触者の方が食事に困ることのないように対応できた。外出を控えることで、感染症拡大防止対策としての効果があった。  |
| 33  | 単     | 感染症対<br>応災害対<br>策事業        | ①災害時の避難所の運営に際し、新型コロナウイルス感染拡大の防止を図る。<br>②感染症に対応するための災害備蓄品の購入<br>③【需用費】5,000千円<br>避難所圧縮毛布4,180円×400枚×1.1=1,840千円<br>アルファ米(個食タイプ)299円×1,400食×1.08=453千円<br>備蓄パン402円×1,600食×1.08=695千円<br>避難所生活用の備蓄用液体歯磨き(400個入り)36,500円×12箱×1.1=482千円<br>歯ブラシ(50本入り)2,000円×34箱×1.1=75千円<br>自動ラップ式トイレセット専用消耗品(50回分)5,450円×100セット×1.1=600千円<br>バルスオキシメーター32,000円×2個×1.1=71千円<br>ブルーシート1,100円×270枚×1.1=327千円<br>セラミックファンヒーター10,000円×5台×1.1=55千円<br>ビデオカメラ80,000円×1台×1.1=88千円<br>机46,000円×2台×1.1=102千円<br>その他消耗品等 212千円<br>④避難者見込数(最大)2,600人 | 地域支援課   | R4.11    | R5.3     | 4,594,500     | 4,594,500   |                | 4,594,500        |          |                    | 災害時の避難所の運営に際し、感染拡大の防止を図るための災害備蓄品及び消耗品を購入した。<br>・アルファ米4箱×12,800円×1.08=55,296円<br>12箱×14,600円×1.08=189,216円<br>12箱×16,000円×1.08=207,360円<br>・備蓄パン32箱×20,100円×1.08=694,656円<br>・毛布40箱×41,800円×1.1=1,839,200円<br>・液体ハミガキ12箱×36,500円×1.1=481,800円<br>・災害用トイレ消耗品100個×5,450円×1.1=599,500円<br>・その他消耗品、備蓄品 527,472円 | ①コロナ禍の避難所生活をするうえで、感染症の拡大を防ぐための資材を購入することで、発災時に速やかにコロナ感染予防に対応した避難所を開設できる体制を整えることができた。<br>②災害対応には、事前準備と即応体制に掛かっているため、感染症予防資材を整備することで災害時でも安心して避難所へ避難してもらえらることを町民へ印象づけられる効果があった。 |



| No. | 補助・単独 | 交付対象事業の名称   | 計画申請時の事業概要<br>①目的・効果<br>②交付金を充当した経費内容<br>③積算根拠(対象数、単価等)<br>④事業の対象(交付対象者、対象施設等)  | 所管課         | 事業<br>始期 | 事業<br>終期 | A             |             |                |                  |          | A-B         |  | 補助対象<br>外経費   | 事業実施状況   | 効果検証<br>①事業の成果、効果<br>②事業の評価 |
|-----|-------|---|---|-------------|----------|----------|---------------|-------------|----------------|------------------|----------|-------------|--|---|--|-----------------------------|
|     |       |   |   |             |          |          | 総事業費<br>(決算額) | B           |                |                  |          | 補助対象<br>外経費 |  |   |  |                             |
|     |       |   |   |             |          |          |               | 補助対象事業<br>費 | C<br>国庫補助<br>額 | D<br>交付金充当<br>経費 | E<br>起債額 |             | F<br>その他   |   |  |                             |
| 39  | 単     | 販売農家<br>原油価格<br>等高騰対<br>策支援事<br>業                         | ①新型コロナウイルスの影響が長期化する中、原油価格・物価が高騰し、燃料、肥料、資料等の高騰を招き、農業経営への影響は深刻であるため、町内販売農家の経済的負担の軽減と農業経営の安定化を図るための支援をする。<br>②町内販売農家への支援金<br>③【補助金】2,390千円<br>販売農家<br>1. 認定農業者・認定新規就農者・人・農地プランの中心経営体(個人)50,000円×25経営体=1,250,000円<br>2. 認定農業者・認定新規就農者・人・農地プランの中心経営体(法人)100,000円×1経営体=100,000円<br>3. 施設園芸農家・畜産農家(個人)80,000円×9経営体=720,000円<br>4. 施設園芸農家・畜産農家(法人)160,000円×2経営体=320,000円<br>※1~4で重複申請は出来ない。<br>④町内販売農家  | 農政課         | R5.1     | R5.3     | 2,240,000     | 2,240,000   | 2,240,000      |                  |          |             |  | ・町内販売農家<br>認定農業者・認定新規就農者・人・農地プランの中心経営体(個人)<br>50,000円×22経営体=1,100,000円<br>・認定農業者・認定新規就農者・人・農地プランの中心経営体(法人)<br>100,000円×1経営体=100,000円<br>・施設園芸農家・畜産農家(個人)<br>80,000円×9経営体=720,000円<br>・施設園芸農家・畜産農家(法人)<br>160,000円×2経営体=320,000円                   | ①町内販売農家の経済的負担を軽減させ、農業経営を安定化させることができた。<br>②農産物及び畜産物の販売事業が継続することできた。 |                             |
| 40  | 単     | 小規模事<br>業者等原<br>油価格等<br>高騰対策<br>支援事業<br>(重点交<br>付金充<br>当) | ①新型コロナウイルスによる原油価格・物価等の高騰の影響を受けている町内事業者に対し、給付金を支給する。さらに、特に影響を受けていると思われる特定の業種には加算して支給する。<br>②町内事業者への支援金の支給<br>③【補助金】38,100千円<br>個人事業者50,000円×200事業者=10,000,000円<br>法人事業者100,000円×200事業者=20,000,000円<br>建設・製造・運輸・宿泊・飲食・洗濯・理容・美容・浴場業者は加算<br>個人事業者30,000円×60事業者=1,800,000円<br>法人事業者60,000円×105事業者=6,300,000円<br>の内20,000千円<br>④町内小規模等事業者   | 企業支援<br>課   | R4.12    | R5.3     | 22,380,000    | 22,380,000  | 22,380,000     |                  |          |             | ・小規模事業者等価格高騰対策支援事業給付金<br>50,000円×48件=2,400,000円<br>80,000円×94件=7,520,000円<br>100,000円×43件=4,300,000円<br>160,000円×51件=8,160,000円  | ①個人、法人による金額の区分や業種による上乗せ支給を実施したことで、事業者のニーズに即した支援を実施することができた。<br>また、申請から給付までの処理を速やかに行うことで、直近で事業資金を必要としている事業者の事業環境向上に寄与することができた。<br>②事業の検討段階から、町商工会、金融機関と打合せを実施し、事業者ニーズを把握することができた。<br>また、商工会による申請サポートや委任状の添付による金融機関の代理申請を可能としたため、申請件数の増加に繋がる効果があった。 |  |                             |
| 41  | 単     | 嵐山幼稚<br>園感染症<br>対策備品<br>購入事業                              | ①嵐山幼稚園において新型コロナウイルス感染防止の観点に留意した物資を購入し、感染症対策を行う。<br>②感染症拡大を防止するための物資の購入<br>③【修繕料】170千円<br>・横型自在水栓 4200円×28個×1.1=129,360円<br>・交換工事 36400×1.1=40,040円 計169,400円<br>【備品購入費】11,426千円<br>・抗菌イス7200円×70個×1.1=554,400円(3歳児25、4歳児20、5歳児25)<br>・抗菌テーブル 71580円×9個×1.1=708,642円<br>・飛沫防止パーテーション 10000円×7個×1.1=77,000円<br>・感染予防スタンド(タオルとポンチョを別々にかけられるようにしてコロナの感染防止につなげる) 23300円×3個×1.1=76,890円<br>・看護用ベッド(登園後にコロナが疑われるような体調不良が判明した園児を一時的に安静にさせておく)7800円×1個×1.1=8,580円<br>【消耗品費】142千円<br>・消毒用エタプロコール 5940円×15本×1.1=98,010円<br>・アルコールウェットティッシュ 詰替え 880円×30×1.1=29,040円<br>・キッチン用ハイター 580円×15本×1.1=9,570円<br>その他衛生用品 5,380円<br>④嵐山幼稚園 | 教育総務<br>課   | R4.12    | R5.2     | 1,714,932     | 1,714,932   | 1,714,932      |                  |          |             | 新型コロナウイルス感染症対策のための備品購入や工事を行った。<br>・消耗品 128,916円<br>・使い捨て手袋、キッチンペーパー、抗菌マグネットシート 等<br>・工事請負費 225,016円<br>手洗い水道蛇口ハンドル交換工事<br>・備品購入費 1,361,000円<br>抗菌園児用イス、抗菌園児用机、ステンレスベッド、パーテーション 等 | ①手洗い水道の蛇口を、園児が握らずに扱いやすいレバーハンドルに交換した。また、衛生消耗品のほか、抗菌園児用イスや机を購入し感染症対策を行った。<br>②衛生的で園児が使いやすい手洗い水道になった。消毒しやすい抗菌の机やイスの購入により、感染防止を図ることができた。  |  |                             |
| 42  |       |   |   |             |          |          |               |             |                |                  |          |             | 廃止   | 廃止  |  |                             |
| 43  | 単     | 嵐山町配<br>食サービ<br>ス事業者<br>支援金支<br>給事業                       | ①コロナ禍の中、要介護高齢者等に対する配食サービスの継続的な提供を維持する。<br>②エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた配食サービス事業者に対し、支援金を支給する。<br>③【補助金】295千円<br>配食サービスに係る費用のうち、食材料費相当の食あたり320円の2割(64円)を物価高騰分として補助する。<br>R4年9月~R5年2月配食分<br>(総合事業分)昼食 64円×95食×6か月=36,480円<br>夕食 64円×32食×6か月=12,288円<br>(任意事業分)昼食 64円×480食×6か月=184,320円<br>夕食 64円×160食×6か月=61,440円<br>④配食サービス業者  | 長寿生き<br>がい課 | R5.3     | R5.3     | 259,648       | 259,648     | 259,000        |                  | 648      |             | 配食サービスは、昼食提供事業者1社と夕食提供事業者1社の計2社<br>・昼食提供事業者2,887食(総合事業分471食、任意事業分2,416食)×64円=184,768円<br>・夕食提供事業者1,170食(総合事業分180食、任意事業分990食)×64円=74,880円<br>配食サービス事業者支援金合計 259,648円              | ①配食サービスを提供する事業者2社に対し、食材料費のうち1食あたり320円の2割、64円を物価高騰分として支援金を支給<br>②電気、ガス、食料品等の物価高騰の影響を受けずに弁当の質、量等を維持することにより、利用者の栄養状態の低下を防ぐとともに経済的負担の軽減が図られた。   |  |                             |

| No. | 補助・単独 | 交付対象事業の名称               | 計画申請時の事業概要<br>①目的・効果<br>②交付金を充当した経費内容<br>③積算根拠(対象数、単価等)<br>④事業の対象(交付対象者、対象施設等)   | 所管課   | 事業<br>始期 | 事業<br>終期 | A             |             |                |                  |          | A-B<br>補助対象<br>外経費 | 事業実施状況   | 効果検証<br>①事業の成果、効果<br>②事業の評価  |
|-----|-------|-------------------------|--|-------|----------|----------|---------------|-------------|----------------|------------------|----------|--------------------|--|--|
|     |       |                         |  |       |          |          | 総事業費<br>(決算額) | B           |                |                  |          |                    |  |  |
|     |       |                         |  |       |          |          |               | 補助対象事業<br>費 | C<br>国庫補助<br>額 | D<br>交付金充当<br>経費 | E<br>起債額 |                    |  |  |
| 44  | 単     | Web会議用パソコン購入等事業         | ① コロナ禍の中Web会議の需要が想定以上にあるため、追加で対応する環境整備を図り、リモートでの研修会や会議への対応を図る。<br>② Web会議用のPCの購入、モバイルルーターの経費<br>③【機械器具購入費】621千円<br>会議用PC 165千円×3台×1.1≒545千円<br>ウイルス対策ソフト 18千円×1セット×1.1≒20千円<br>訪問料 8千円×1回×1.1≒9千円<br>設定費1式 14千円×3台×1.1≒47千円<br>【備品購入費】82千円<br>ルーター 33千円×2台×1.1≒73千円<br>ACアダプタ 4千円×2台×1.1≒9千円<br>④ 嵐山町役場 会議室  | 地域支援課 | R5.1     | R5.2     | 590,370       | 590,370     | 590,370        |                  |          |                    | コロナ禍にWeb会議の需要が高まり、リモートでの研修会や会議に対応する環境整備を図るため、Web会議用のPC等を購入した。<br>・PC 3台(諸経費含):512,160円<br>・Free Wi-Fi 2台:78,210円 | ①長引くコロナ禍で、Web会議の需要が高まったが、環境整備を充実させたことで、感染予防対策を図りながら安心してリモート会議や研修に参加することができた。<br>②リモート会議や研修に参加できることで感染防止につながった。 |
| 45  |       |                         |  |       |          |          |               |             |                |                  |          | 廃止                 | 廃止   |  |
| 46  | 補     | 子ども・子育て支援交付金            | ①新型コロナウイルスに感染しやすい状況下において、地域で相互援助するファミリーサポート事業を活用することにより日常生活等を豊かに過ごせるような支援を図る。<br>②ファミリーサポート・病児・緊急預かり事業委託、ファミリーサポートセンター・緊急サポートセンター補助<br>③【委託料】1,009千円<br>ファミリーサポート・病児・緊急預かり委託料 917千円×1.1≒1,009千円<br>【補助金】192千円<br>ファミリーサポート(一般世帯)132時間×200円=26,400円<br>ファミリーサポート(ひとり親世帯)192時間×400円=76,800円<br>緊急サポート・病児(一般世帯)24時間×700円=16,800円<br>緊急サポート・病児(ひとり親世帯)24時間×1,000円=24,000円<br>緊急サポート・病児以外(一般世帯)36時間×200円=7,200円<br>緊急サポート・病児以外(ひとり親世帯)12時間×400円=4,800円<br>ファミリーサポート同席(一般世帯)36時間×400円=14,400円<br>ファミリーサポート同席(ひとり親世帯)36時間×600円=21,600円<br>④ファミリーサポートセンター及び利用者 | 福祉課   | R4.4     | R5.3     | 1,081,734     | 1,081,734   | 360,000        | 360,000          |          | 361,734            | ・ファミリーサポート・緊急サポート業務委託料 1,008,334円<br>・ファミリーサポート・緊急サポート利用補助金ファミサポ(ひとり親)73,400円                                    | ①仕事と育児の両立が可能な環境の整備と子育て支援環境の充実を図ることができた。<br>②地域における仕事と子育ての両立の推進が図られた。   |
| 47  | 単     | 学校給食補助事業                |  |       |          |          |               |             |                |                  |          | No6で対応             |  |  |
| 48  | 単     | 水稲次期作支援助成事業             |  |       |          |          |               |             |                |                  |          | No7で対応             |  |  |
| 49  | 単     | 子育て世帯応援給付金支給事業(重点交付金充当) | ①コロナ禍における原油価格・物価高騰等の影響を受けやすい子育て世帯に対して、応援給付金を支給することで経済的負担を軽減する。<br>②子育て世帯応援給付金及び事務費<br>③【需用費】54千円<br>・事務用品等 17,000円<br>・窓あき封筒印刷代 13円×2,000枚=26,000円<br>・返信用封筒印刷代 5.4円×2,000枚=10,800円<br>【役務費】202千円<br>・案内等送付 84円×1,200件=100,800円<br>・返信用切手代 84円×1,200件=100,800円<br>【補助金】17,670千円<br>・補助金 1,767人×10,000円<br>の内7,926千円<br>④町内支給対象児童1,767人   | 福祉課   | R4.10    | R5.1     | 11,210,000    | 11,210,000  | 11,210,000     |                  |          |                    | ・補助金 1,121人×10,000円=11,210,000円  | ①新型コロナウイルス感染症の影響等を受けている子育て世帯への生活応援給付措置を実施。<br>②子育て世帯に対して経済的負担の軽減に寄与した。   |
| 50  | 単     | 物価高騰による学校給食費の負担軽減事業     |  |       |          |          |               |             |                |                  |          | No23で対応            |  |  |

